

## 仙台高等専門学校 建築デザイン学科造形研究室（宮城県）



### 「名取市貞山運河の観光産業復興構想提言調査研究事業」

#### 【事業目的】

2010年8月より貞山運河観光開発調査研究を実施し。調査は、貞山運河及び周辺観光資源として今後の新たな展開を導く踏査調査である。2011年度も継続調査として進めていたが、東日本大震災により貞山運河が位置する閑上地区も甚大な被害を受けた。沿岸部の津波による被害は、各地域周知のことであるが、貞山運河も両側に立ち並ぶ木々も剥ぎ取られるなど震災以前の様相とは全く異なる情景となり、観光資源としての再興が求められている。

本調査研究は、震災後の貞山運河や周辺施設（仙台空港・仙台空港アクセス鉄道・閑上漁港）などへ現状踏査を行い、再度観光資源としての可能性を「名取市貞山運河の観光産業復興構想」として提言を目的とする。

#### 【事業実施状況】

調査：2011年9月5日～2012年2月27日

- 貞山運河踏査調査を実施
- 調査データ及び事前調査データを基にした復興構想案検討
- 貞山運河観光産業復興構想提言書作成

（成果品）

「名取市貞山運河の観光産業復興構想  
提言調査研究事業基本構想編2012」

#### 【成果・今後予想される事業効果】

（成果）

名取市及び関係機関へ提言を実施。

（今後予想される事業効果）

提言の基本構想・基本コンセプトにおける「交流」と「育成」から「拠点：水と道と空の駅」を整備することで、貞山運河を中心とした仙台圏や石巻圏へのネットワークが形成され、「人々が集まる」コトづくりが可能となる。

また、拠点は、スポーツ・文化・食の拠点が創造されることにより、集客が可能となることが考えられる。更に、各種スポーツ競技会やコンサート、食の提供等事業が実施されることで、これまで以上の経済効果が図られると考える。